

一般市民の方にとって身近で相談される土壤医になるために

コーギーテラス 小松原幸二

1 受験のきっかけ

農業の資格は何があるのかと調べていたら、土壤医検定が検索結果にでてきたのが最初の始まりでした。2019年にアスパラガスで新規就農をしたが、まずは基礎知識を身につけるために土壤医2級を受験し合格しました。3級も2級も項目はほぼ一緒に感じ、それなら時間も比較的あったので、最初から2級を受けました。実際参考書を読んでも有機栽培と慣行栽培の区別なく、知識量も豊富で、その技術がコストや効率も考えた経営的な要素も含んだ内容に、農家としては非常に参考になると感じました。

2. 土壤医資格をどのように活用していきたいか

通常、農家へのアドバイス、指導を求められることが多いと思うが、今後、それだけでなく、家庭菜園やチョット農業をする人をサポートするため、ワークショップ開催や栽培指導をできるようにしたいです。というのも非農家の方はプロ農家に相談したいけども、できることがなかなか難しい場合が多い。気軽に相談でき、的確なアドバイスやフォローができる人がいると非常に心強いと思うからです。

有難いことに、土壤医の会からの定期的にある多様な情報や研修会内容も充実している。自分自身も継続して自己研鑽をし、その貴重な情報をプロ農家だけでなく、非農家の方にもシェアできるようにしていきたい。その活動を通じて農に関わる多様な人をどんどん増やしていきたいと考えています。

3. 受験対策

1回目の受験は不合格になり、2回目のチャレンジで合格しました。1回目にレポートは合格していたのもあり、2回目は筆記試験に集中できたのも大きかったです。

まずレポートに関しては、過去事例を参考に書き方を工夫しましたが、最後は土壤医1級の先輩農家さんに相談していろいろアドバイスを受け修正できたのが大きかったです。

筆記に関しては、1回目は過去問題集ばかりしていて大丈夫と思っていたのが落とし穴でした。なので、参考書をしっかり読み込んだ上で過去問題集を繰り返し解きました。

その方が理解力も上がって表現が変わった似たような問題にも解けたと感じています。

また、試験勉強中、どうも理解できない内容があった場合、誰かに聞きたいことがあります。

今年は先輩農家に聞いたり、ネットなどで調べ上げて、徹底的に理解するようにしました。少し勉強効率は落ちますが、農家にとっては実践にも繋がると思うと、なんだかんだ全てが楽しく勉強できたのが良かったと感じています。

